

令和2年度 第2回大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 議事録

○ 日時：令和2年 11月27日(金)14:30~16:00

○ 場所：本校会議室

○ 出席者

<運営協議会委員>

綿野 哲 氏 (大阪府立大学 教授・工学域長)、 中谷 浩治 氏 (堺市立若松台中学校 校長)、
中村 俊一 氏 (立志館ゼミナール 館長)、池内 博一 氏 (追手門学院大学 准教授)、
中村 幸美 氏 (泉北高校PTA会長)、 向井 久仁子 氏 (泉北高校後援会 会長)

【配布資料】

資料1 第2回学校運営協議会配席図

資料2 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

資料3 大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 実施要項 (改正版)

資料4 令和2年度SSH事業報告と今後の予定

資料5 進路指導部 学校運営協議会資料

1. 校長挨拶

今後の泉北高校のマネージメントについて、委員の皆さまの意見交換をお願いいたします。コロナ禍ではありますが、次年度の学校経営計画を考える時期になりましたのでよろしくお願いいたします。

2. 授業見学関する意見交換 (英語、数学、社会、理科)

・協議会委員の方々のご意見

英語 オールイングリッシュで行われているのは素晴らしい

コンピューターを用いての授業で生徒たちは意欲的であった。

うまく授業を行っている。単語もビジュアルで覚える工夫がなされている。

数学 少人数で実施されていて素晴らしい。

考え方のプロセスが取り入れられていた。

社会 話の展開がよかった。また、テンポもよかった。

トピックがあって面白い。暗記が多い。

今までの授業で、積み上げがどうなっているのかが知りたい。

入試を意識して覚えることに偏っていた。

暗記より考えることに重きを置く授業を考えていくとよいのでは。

理科 グループにおいて、分からない人に教えている様子が見られた。

・校長より

丁寧に分かりやすく授業をすることを心掛けている。自分たちがどういうふうに学びをつかんでいくかが大切。学ぼうとする力が大切である。引き続き、学ぶ力を支援していく。よりよい教え方を求め続けていくことが、我々の務めである。

3. 事務局より

(報告) 実施要項にオンライン会議について追加

4. 協議事項

① 令和2年度 学校経営計画及び学校評価の進捗状況について

校長より進捗状況説明のあと、以下、委員からの意見

- 大学ではオンラインツールを用いて講義をしている。高校でも利用してはどうか。時間外の勤務時間が60時間以上とは実際はどのような働き方の人のことか。(A:主にクラブ活動を指導している教員)
- 英検の学年別、学科別の合格者はどうか。(A:、1級1名(3年)、準1級9名(3年)、2級4名(1年)・22名(2年)・105名(3年))
- 学校方針として英検受検を進めているのか。英検と大学受験とは関係があるのか。(A:学校経営計画記載のとおり目標としている。推薦入試等で加点される。)
- 中村様 英語の一級は素晴らしい。準一級も素晴らしい。英検指導におけるノウハウをお持ちなのでしょう。オンラインの環境は前もって準備しておく方がいい。双方向についてもいざ必要な時になって始めるのではなく、前もって準備しておくこと。
- 池内様 できないこともあるでしょうが、受検の進路指導はますます必要がある。いじめのアンケート

の報告は過去にも載せていたか。(A:今回初めて掲載した。)

- 池内様 いじめに該当するような事案はあったか。
(A:教育委員会に届けることが必要な重大事案は発生していない。)
- 向井様 オンライン講義を充実させてほしい。
- (PTA)中村様 英検対策をしてもらってありがたい。遅刻が多いように見える。
- 綿野様 英検だけでなく、TOEICを受けているのか。入試ではTOEICの方は評価が高い。
(A:英検の方が生徒にはなじみがある。)
- 綿野様 IPテストとかは考えていないのか。大学では新入生に受けさせている。
- 綿野様 国公立大学の入学者数ですが、目標を達成できていない。目標の設定を考え直す必要があるのでは。達成可能は設定にしておかないと、評価が厳しくなる。

②SSH 事業報告と今後の予定

今年度の予定、第4期の申請について、本校の取組項目の説明

③50期生進路状況について

いままでの進路指導と、これからの進路指導についての説明

【その他、各運営協議会委員からの意見】

- ① (オンライン授業について) ZOOMで問題があったのは、家庭でのwifi環境である。大学では機材の貸し出しを行った。
- ② 高校に必要な資金が用意できないのであれば、地域社会に働きかけて募金を募ってはどうか。公費のみに頼らず、教育活動を援助する仕組み作りを検討すべき。
- ③ 塾での対面授業がダメになった時、すべての講師に ZOOM を使用させた。マニュアル化して作成、8~9割の講師が実施した。条件が整うのを待たず、前に進むことが大切である。

4. 事務連絡

- 第3回学校運営協議会の日程について

令和3年 2月 5日(金) 15:45～17:00 (予定)